

2期目も
全力!



日本共産党

29歳

女性現職に

党派をこえて

期待の声 が広がっています

日本共産党の躍進に
期待しています



作家・僧侶
瀬戸内 寂聴



フェリス女学院大学元学長
日本環境学会元会長
本間 慎

豊洲移転中止
築地再整備を期待

くらし優先の
都政への転換を期待



元都議会議員
池田 梅夫



参議院議員
吉良 よし子

ブラック企業根絶
人間らしい働き方を期待

都民とともに
都政を変えた

声をあげれば政治は必ず変えられる

最年少
現職だから

豊島区に認可保育園26園1,801人分、
特養ホーム2カ所増やした人

豊島区で8年ぶりに共産党の女性現職が誕生したら、ママ、パパの願いが実現し始め区内で認可保育園が26園、1801人分増えました。待機児解決へ、「これからも都政に必要」などの声広がっています。



学費軽減・返済なしの奨学金・
家賃補助…都政に光を当てた人

共産党の女性現職のこだわりは、若者がお金の心配なく学べるように大学・専門学校などの返済不要の奨学金をつくること。若い女性やシングルマザーなど声をあげにくい人に都政の光をあてることです。首都大学東京の学費減免が拡充し、ブラックな働き方の改善も一歩前進しました。

食の安全は
ゆずれない

豊洲の失敗を認めさせ、 食の安全と築地再整備へ全力あげる人

知事は「無害化できない」と都民、築地の業者に謝罪したのだから豊洲移転は見直すべきではないでしょうか。豊洲移転をキツパリ中止し、安全な築地ブランドを守りたいの声をこぞって日本共産党の女性現職へお寄せください。



くらし・教育・食の安全の願い
日本共産党 29歳

しなやかに

女性現職へ



政治を変えたい 憲法9条を守れ

安倍
自民・公明
ひどすぎる!



—この思い、今度は党派をこえて

日本共産党女性現職へ

声をあげれば政治は必ず変わる
—これが女性現職の信条

「加計・森友学園」疑惑隠し、問答無用の「共謀罪」強行、3年以内に憲法9条改悪を宣言…。「自民、公明はひどすぎる。今度は共産党」の声が広がっています。総選挙の前の首都の選択で安倍暴走政治を退場に追い込む審判をくだしましょう。



“税金はくらし優先に”の願い、 日本共産党女性現職へ

税金で新年会費、公用車使用の自民・公明

自らの
税金の使い方が
問われます

「年金は減らされた」「国民健康保険料の値上げ通知がきた」…。税金を暮らし、子育て、福祉に使うのが都政の仕事。ところが、自民、公明は税金で新年会費を払い、幹事長専用車も頻繁に使っています。自らの襟を正せない党に都政の改革はできません。

	自民党現職	公明党現職	共産党現職
政務活動費 新年会費支払	年 61 万円 88回	年 54 万円 74回	ゼロ
公用車の使用 (2016年度)	自民党として 年1,909回使用	公明党として 年425回使用	共産党は 1993年から 使用せず

東京都には財源があります
一緒に実現を

- 認可保育園をさらに増設。特養老人ホームの増設で入所待ち解決を
- 国保料ただちに年1人1万円引き下げ
- 都独自の返済不要の奨学金、若者・子育て世代の家賃補助の新設
- 中小企業への支援をすすめ、最低賃金は時給1,500円をめざす

お約束

